

## 令和2年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2	年次	2
使用教科書	光村出版「書 I」						
副教材等							

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・小学校、中学校の書写の授業で学んだことをふまえて、様々な表現をすることを楽しみ、書・その他の芸術にも興味を広げましょう。
- ・様々な書体があることを認識して、臨書や鑑賞を味わいましょう。
- ・筆の弾力を使いこなし、表現の幅を広げましょう。
- ・字による自分らしい自分だけの作品を作ること達成感を味わい、「書」に対する関心を深めます。

## 2 学習の到達目標

- ・書道を通して、感性を高め、書写能力の向上と芸術的表現、鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。
- ・書の歴史と文化についての理解を深め、古典を基本に、臨書・創作・作品制作や鑑賞を行う。
- ・古典を基本とするが、個人の表現を制限しすぎない。

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の理解	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の総力
観 点 の 趣 旨	「書」の歴史と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	「書」の美しさや楽しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	「書」の表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	「書」の効用やその価値を考え、「書」の活用を場を創造的に味わっている。
評 価 方 法	出席 観察 課題	観察 ワークシート 課題 作品	観察 課題 作品	観察 課題
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	書写から書道	○書写から書道へ ・書写と書道の類似点・相違点 ・書体の変遷 ・文字に興味を持つ	○		○	○	a: 書写と書道の類似点・相違点について興味を持っている。 b: 道具の知識・扱い方を理解し、書道に対する姿勢や執筆法の基本を身に付けている。 c: 書写と書道の違いを理解し、意欲的に取り組んでいる。 d: 書写での基礎・基本を踏まえ、さまざまな書のよさを味わって課題の中に表現できている。	出席 観察 ワークシート 課題 作品
	漢字の書（楷書）	○漢字の書 ・楷書・行書の理解 ・古典臨書の活用	○	○	○	○	a: 楷書・行書の表現の違い・基本的な用筆方法をについて理解している。 b: 各書体における様々な書風やその用筆法を理解し、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 c: 古典の臨書を用いて、各書で利用する用筆方法を身に付け表現している。 d: 代表的な書体の古典を知り、そのよさや美しさを表現している。	出席 観察 ワークシート 課題 作品
	漢字の書（硬筆）	・楷書と行書 ・ボールペン、万年筆による実用的なもの		○	○	○	a: 楷書・行書の表現の違い・基本的な用筆方法をについて理解している。 b: 正しい姿勢で、用筆法・スピード・リズムを考えながら取り組んでいる。 c: ボールペン、万年筆を用いて、各書で利用する用筆方法を身に付け表現している。 d: ボールペン、万年筆を用いて、日常生活のあらゆる場面と構成を考えて書こうとしている。	出席 観察 ワークシート 課題 作品
後期	漢字の書（行書）	○漢字の書 ・楷書・行書の理解 ・古典臨書の活用	○	○	○	○	a: 楷書・行書の表現の違い・基本的な用筆方法をについて理解している。 b: 各書体における様々な書風やその用筆法を理解し、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 c: 古典の臨書を用いて、各書で利用する用筆方法を身に付け表現している。 d: 代表的な書体の古典を知り、そのよさや美しさを表現している。	出席 観察 ワークシート 課題 作品

後 期	漢 字 創 作	○色紙一字書 ・色紙作品制作 ・語句の選定	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	出席 観察 ワークシート 課題 作品
	篆 刻 (名印制作)	○篆刻 ・自分の名前調べ(篆書体) ・名前の印の制作 ・印刀を使っの作業	○		○	○	a:字典を使った名前の篆書体調べを通じて、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻における「分間布白」を理解し、表現を工夫している。 c:印づくりにおいて、安全に作業し、的確に印刀を使うことができる。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを作品に表現している。	出席 観察 ワークシート 課題 作品
	仮 名 の 書	○仮名の書 ・基本的な用筆 ・連綿・変体仮名の理解 ・古典臨書	○	○	○		a:仮名の成立に興味・関心をもち、仮名の種類について理解しようとしている。 b:仮名の綿質の特徴を捉え、それを表現するための用筆・運筆を習得している。 c:古筆に表れる連綿・変体仮名の効果を理解し臨書しようとしている。 d:古筆の線の美や作品の字形・構成の調和を味わっている。	出席 観察 ワークシート 課題 作品
	漢 字 仮 名 交 じ り の 書	○漢字仮名交じりの書 ・語句の選定 ・構成と書体の工夫 ・半紙～半切1/2作品制作	○	○	○	○	a:漢字仮名交じりの書で創作・表現することに関心を持ち、工夫した作品を作ろうとしている。 b:表現のねらいを明確に定め、習得した知識・技能を生かして構成を考えられている。 c:自らの力で試行錯誤できている。 d:さまざまな作品を鑑賞し、工夫を捉えることで自分の表現への生かし方を考えている。	出席 観察 ワークシート 課題 作品

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度

c:書の表現の技能

b:書の表現の理解

d:創造的な表現と取り組み

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。